

環境未来都市「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」の進め方について

「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」の取組を3つのモデル地区で実施します。
 UR都市機構や鉄道事業者をはじめとする民間事業者、地域、大学等幅広い主体と連携して取組を進めます。

【趣旨】

- ・このプロジェクトでは、「中期4か年計画」に掲げた「コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり」の具体化に向け、鉄道駅を中心に公共交通等でつながる住宅地のまちづくりや郊外部の団地再生に取り組みます。
- ・これまで、地域主体のまちづくりの取組を市内の様々な地域で進めていますが、さらに、民間事業者（鉄道事業者、開発事業者等）や大学等幅広い主体と連携することにより、取組内容を広げ、地域課題の解決を進めていきます。
- ・広い市域を持つ横浜は、地域ごとに特性が異なり、一律な手法では課題解決を図ることは現実的ではないことから、地域特性を踏まえていくつかの地域でモデル的な取組を進め、その内容を検証した上で、他の地域に展開できる要素を抽出していきます。
- ・そして、このプロジェクトの取組を「環境未来都市」の主要な事業に位置づけ、市内はもちろん、民間も含めた幅広い主体が連携した取組を通して、地域課題の解決を図る「横浜型モデル」を作り出していきます。

プロジェクト推進イメージ図

